

新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン

令和2年8月7日

東京都高等学校体育連盟女子卓球専門部

1. はじめに

本ガイドラインは、日本スポーツ協会が作成した「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」や東京都教育委員会が策定した「新型コロナウイルス感染症対策と学校運営に関するガイドライン(都立学校)～学校の『新しい日常』の定着に向けて～」に基づき、東京高等学校体育連盟が作成した新型コロナウイルス感染症拡大の防止ガイドラインをもとに大会再開後の指針として作成しました。

また、大会に参加する参加校の責任者・参加選手・顧問の皆様におかれましては、本ガイドラインのみならず、日本卓球協会の作成したガイドラインも併せて参考にいただき、感染拡大防止を徹底し、安全な大会運営に取り組んでいただきますようお願い致します。

なお、本ガイドラインは、現段階で得られている知見等に基づき作成しています。今後見直すことがあり得ることに御留意ください。また、今後、社会情勢が大きく変化し、通常の世界生活に戻るなどした場合の対応は、このガイドラインの限りではありません。

2. 都高体連主催事業再開に当たっての基本的考え方

東京都のイベント開催や教育活動の方針(「新型コロナウイルス感染症対策と学校運営に関するガイドライン」等)に基づいて、部活動が学校教育の一環であることを踏まえ、以下の条件等が整い感染防止策を徹底することを開催の条件とします。

- ① 東京都において、緊急事態宣言が解除されている。
- ② 学校教育活動が実施されている。
- ③ 部活動が実施されていて、生徒の健康と安全が確保できる。
- ④ 大会は当面の間、無観客の開催とする。
- ⑤ 参加生徒及び保護者の内諾を得ることを要件とする。

3. 大会開催時の感染防止策について

(1) 全般的な事項

- ① 感染防止のため主催者が実施すべき事項や参加者が遵守すべき事項をあらかじめ整理し、チェックリスト化したものを適切な場所(大会の受付場所等)に掲示する
- ② 各事項が遵守徹底されているか会場内を定期的に巡回・確認する
- ③ 大会に参加する全ての者(選手・顧問・役員等会場内に入る者:以下参加者と表記)はマスクを着用するが、熱中症のリスクを考慮し状況に応じてはマスクをはずす
- ④ 万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、大会当日の全参加者を把握するとともに、記録し、保存期間(一ヶ月以上)を定めて保存しておく
- ⑤ 大会後の参加者の新型コロナウイルス感染に備え、当日の参加者へ直ちに連絡できる体制を整えておく

(2) 大会参加校が遵守する事項

以下の内容は大会実施のために、引率責任者が指導を徹底してください。

- ① 参加に当たっては、生徒・保護者から同意書(別紙)を得ること。
必要事項を記入して各学校の顧問教諭(引率者)が大会当日に確認して大会終了後に学校長に提出。大会後の感染発生時に備えて各学校で1ヶ月保管する。
- ② 参加者が以下の事項に該当する場合は、参加校の責任において当該生徒の参加を見合わせる。
 - A. 体調がよくない場合
(例:平熱を超える発熱・咳・咽頭痛・強いだるさ・息苦しさ・味覚嗅覚の異常などの症状がある場合)
 - I. 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - U. 新型コロナウイルス陽性者との濃厚接触者である場合
 - E. 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

- ③ マスクは参加者が持参し、使用後は全てのゴミとともにビニール袋に入れて持ち帰る。
(参加受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用する)
- ④ 消毒用アルコールは参加校が用意し、こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒や使用用具の消毒を実施すること。手拭き用のタオル等は各自持参させる。
- ⑤ 他の参加者や役員等との距離（できるだけ2m以上）を確保する。
- ⑥ 大会中に大きな声で会話、応援等をしない。
- ⑦ 競技前後のミーティング等においても、三つの密を避ける。
- ⑧ 感染防止のために主催者が決めた措置を遵守し、主催者の指示に従う。
- ⑨ 参加者が大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに報告する。
- ⑩ 当面の間、無観客で開催するため当日の入場に制限があることを保護者等に周知・徹底する。
- ⑪ 会場への移動等は参加校が責任をもって集団感染のリスク（3密の条件）を避ける。

(3) 大会運営（競技含）上の留意点

- ① 十分な距離の確保
 - ア 感染予防の観点から、更衣や準備運動等においては、周囲の人となるべく距離を空ける
 - イ 強度が高い準備運動等の場合は、呼気が激しくなるため、より一層距離を空ける
- ② タオルの共用はしない
- ③ 飲食については、指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話は控えめに
する
- ④ 飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外（例えば走路上）に捨てない
- ⑤ 競技中使用した用具は、適宜消毒する
- ⑥ 生徒の補助役員については、感染防止の観点から可能な限り縮小し、やむをえず実施する場合は、生徒本人、保護者の同意書を得るとともに、所属校の校長から承諾を得る。

(4) 競技実施上の留意点【補足】

各大会要項あるいは、HP やメールにて連絡をする競技上の注意を参考にし、各参加者に徹底をすること。

- ① **チェンジエンドを行わず、試合前のラケット交換は、台上で見せ合うようにする。**
試合後の握手は行わない。
- ② **タイムアウト制はなし。試合球については、適宜消毒を行う。**
- ③ **カウンター（得点板）は使用しない。**
- ④ **選手・審判は会場使用上の指示に従い、試合終了後、指示に従い卓球台の消毒を行う。**
- ⑤ 試合会場に入れるのは、選手・引率責任者、顧問（監督）とする。

(5) 参加者の中に感染が判明した場合の対応

(新型コロナウイルス感染症事案発生時における連絡体制（高体連女子卓球専門部）を参照)

- ① 大会前
 - ア 感染者、濃厚接触者と特定され、大会当日に登校を許可されていない者の参加は認めない
 - イ 団体競技においては、参加申込後の選手変更を認める
 - ウ 個人競技においては、欠場とする
- ② 大会期間中
 - ア 参加者は、必ず当日の朝、自宅で検温を行い、平熱であることを確認し会場に入る
 - イ 特に生徒については、引率責任者が責任をもって体調を確認する
 - ウ 大会中に発熱等の症状を訴える者を確認した場合は、保護者に連絡し帰宅させる
- ③ 大会後
 - ア 感染者の所属する学校や行政機関の指示に従う
 - イ 当該校顧問は速やかに主催者（専門部）に報告する
 - ウ 当該の専門部は、感染者が参加した大会当日に会場内にいたすべての学校と役員等に連絡する
 - エ 危機管理マニュアルに従って速やかに事故報告書を作成し、高体連事務局に報告する。